

# 装備品等の調達効率化に係る施策について(概要)

## I 26年度予算に向けた装備品等の調達効率化の取組み

### 1 維持・整備方法の見直し (縮減額：約90億円)

定期整備間隔等の延伸により、維持整備コストの効率化を追求。	① 潜水艦ソーナー用ラバーウィンドウの換装間隔延伸
	② 艦艇用ガスタービンエンジンの整備間隔延伸
	③ 掃海・輸送ヘリ(MCH-101)エンジンのオーバーホール間隔延伸
	④ 輸送機(C-130H)の定期整備間隔延伸

### 2 装備品のまとめ買い (縮減額：約440億円)

少量かつ長期間の整備により高価格となっている装備品等について、経費節減効果の見込まれるものを単年度にまとめて予算化し、効率化を追求。ただし、単年度での契約ベース予算額の増大に対応することが必要。	① 12式地对艦誘導弾のまとめ買い
	② 交戦訓練用装置のまとめ買い
	③ たかなみ型護衛艦の短SAMシステム機能向上用器材のまとめ買い
	④ 戦闘機(F-2)能力向上レーダーのまとめ買い

(※) これらの他にも、陸・海・空で共通で装備しているUH/SH-60ヘリコプター、89式小銃等の装備品の調達についても、引き続き、一括した調達による経費の節減を図る。

### 3 民生品の使用・仕様の見直し (縮減額：約110億円)

費用対効果の観点から、民生品の使用や装備品の仕様を見直すことにより、コストダウンを追求。	① 災害派遣等多目的に対応する救難艦の建造にあたって商船仕様・民生品を活用
	② P-3C搭載レーダーの能力向上にあたってより費用対効果の高い装置を活用
	③ 港湾電話の民生品による代替

## II 装備品の調達効率化に係る中長期的検討の方向性

### 1 プロジェクト管理の強化による装備品の費用対効果の向上

#### ライフサイクルを通じた プロジェクト管理の強化

PM(プロジェクト・マネージャー)及びIPT(統合プロジェクトチーム)、プロジェクト管理に関する事務を統括する体制を整備

→26年度において、企画官(プロジェクト管理担当)5名要求

25年度においては、F-35、P-1、C-2、UH-Xについて、PM/IPT体制の下でのプロジェクト管理を試行的に開始

→26年度において、プロジェクト管理への民間能力の活用、人材育成のため米国においてプロジェクト管理の研修の受講

LCCの精緻化のため、LCCの算定要領等の改善、LCCデータの収集整理の検討を加速

→26年度において、データベース構築の基礎となる分析調査、パイロットモデルの検証を実施

LCC見積りと実績に一定以上の乖離が生じた場合に仕様や事業計画の見直し等を含めた検証を行う制度を年内に確立

仕様の共通化・ファミリー化の拡大、民生品(COTS品)の活用を推進

### 2 契約方式の改善・多様化による企業努力へのインセンティブ向上

#### 原価積み上げ方式の見直し (適正な調達価格の設定)

量産中期以降において、量産初期の原価情報(官側データ)を基に調達価格を早期に確定化することにより、企業側のインセンティブを引き出しつつ調達コストを下げしていく手法を検討

→26年度において、装備品等の予定価格算定等に当って、新たな統計的処理等の手法を用いた装備品に係るコストデータの有効活用のための調査研究を実施

#### 複数年度一括調達等の推進 (長期契約の導入を含む)

複数年度一括調達等の推進により、企業側の製造能力等の固定資産の効率的な使用、スケールメリットの追求等を可能とし、コストダウンを促す

取得に長期を要する装備品等の一括調達については、5年を超える長期契約の導入を検討

#### JV型等の最適な受注体制の 構築を可能とする企業選定方式 の検討 (※JV:ジョイント・ベンチャー)

各企業の最も優れた技術を組み合わせ、国際的にも競争力を有する装備品の取得を可能とする企業選定方式を検討

### 3 即応性・対処能力の向上に向けたロジスティクス改革

#### 民間能力の有効活用等による装備品の可動率の向上

**装備品の可動率の向上等**を図りつつ、民間能力を活用し**維持・整備経費を抑制**することが可能な方策の検討

→26年度において、装備品等の可動率の維持・向上のための調査研究

可動率の維持・向上等に向けたロジスティクス改革により得られたリソースは、**防衛力の整備に再投資し、防衛力の強化を推進**

#### PFI/PBL活用の拡大・深化による自衛隊活動支援

パイロット・モデルの成果を踏まえ、**PBL対象装備品等の拡大、業務委託範囲の拡大(裁量の拡大)によるパフォーマンスの向上など**、即応性の向上に向けたPBL方式適用の拡大・深化について検討

→26年度において、より高度なPBL導入検討のための調査研究

**民間輸送力の活用**等に際しては、**PFI方式の導入可能性**を検討

→26年度において、機動展開における民間輸送力の活用施策に係る検討

### 4 国際的な装備技術協力等を通じた防衛生産・技術基盤の強化

#### 防衛生産・技術基盤戦略の策定

防衛力の能力発揮のための基盤である我が国の防衛生産・技術基盤の維持・強化のため、**防衛生産・技術基盤全体の将来ビジョンを示す戦略**を策定(策定に際して、**主要な装備品分野の「強み」と「弱み」**を把握する**産業基盤調査**を実施)

防衛生産・技術基盤の維持・強化の施策の一例として、**デュアルユース技術の活用等の促進、民間転用の推進**等について検討

#### 国際的な装備技術協力の促進・円滑化

米英をはじめとする**諸外国との国際共同開発・生産**を積極的に推進

**武器輸出三原則等**の運用の現状が、近年の安全保障環境等に適合するものであるか検証し、必要な措置を講ずる